



給食だより 2月号

令和8年 2月
上尾市立大石小学校



1年の幸福を願う「節分」の行事



2月3日 節分



立春の前日に当たる節分には、古くから、豆まきをしたり、ヒイラギイワシ（ヤイカガシ）を玄関に飾ったりする風習があります。これには、「病気や災難を起こす“鬼（邪気）”を追い払い、1年を元気に過ごせますように」という願いが込められています。

最近では、「恵方巻き」が店頭をにぎわすようになりましたが、もともと全国的な風習ではなく、江戸時代に大阪の商人が商売繁盛祈願のために行っていた風習が始まりとされています。（※諸説あります）

節分にまつわる食べ物



福豆

大豆をいったもの。豆まきに使うほか、自分の年齢の数、または年齢の数+1個食べて、1年の幸福を願います。大豆の代わりに落花生を使う地域もあります。

よくかんで食べよう！



恵方巻き

太巻きずし。その年の歳神様がいるとされる“恵方”を向き、願い事を思い浮かべながら、無言で丸かじりします。

2026年の
恵方は
「南南東」



上尾市の給食でも、節分献立として「いわしのかば焼き」が登場します。ご家庭でも節分の行事食に込められた意味について話題にしてみてください。

新献立 いも団子スープ

じゃが芋を原料とした団子が入ったスープです。いも団子のもちもちとした食感が楽しめます。

鶏肉、人参、椎茸、玉葱、にらを使用し、鶏がらスープでさっぱりと仕上げます。



給食感謝の会を行いました

給食委員会が中心となり、給食の舞台裏について学びました。大きな釜で調理することの大変さや、清潔な身支度で作業していること等、普段子供たちからは見ることのできない内容について発表し、子供たちが心を込めて書いたメッセージを調理員さんに届けました。



毎日当たり前のように食べている給食が、調理員さんたちによって支えられていることを改めて実感する大切な時間となりました。

調理員さんの言葉を忘れずに、毎日大切に給食を食べ、元気に過ごしましょう。